

# 太田東西かわら版

おんころころ せんだりまとうぎ そわか

2023. 2

## 「良縁を結ぶ」 ために必要なこと



きれいな2人のお嬢さんが、太田東西かわら版1月号を読んでいます。人間関係のトラブル・ストレスを回避して、健康で幸せに生きるためには「最初が肝心」であり、相手の考えを尊重しながら話し合うことが大切だという内容を記しました。

「ところで2人のお嬢さん、いったい誰ですか？」

はい！ 左の女性が長男の彼女で、右が次男（若先生）の彼女です。  
若先生はすでに・・・・・・・・・・（本人に尋ねてください(^\_^;)）

1月号は太田東西薬局の、つまりは太田家の健康観を表明しました。  
風邪を引いた時の「発熱」という症状を、どう捉え、どう対処するか？  
我が子の発熱を今すぐに下げてあげたい親心はわかる。でも、その発熱は体に  
侵入して来た病原菌・ウイルスを消滅させるために起きている有益な反応。

それを解熱剤ですぐに下げることは、ほんとうに子どもの将来の健康のためになるのか？ 発熱は自然治癒力（免疫力）がはたらいている証拠。  
何度も何度も風邪を引き、熱を出して、子どもは強くなっていくもの。

しかし・・・

医者にかからないと不安で心配。仕事が休めないから早く治したい。  
親自身のゆとりと覚悟の無さから、すぐに病院・薬に頼ってしまう。

## 『検査と薬漬けの低年齢化』

コロナ騒動をきっかけに、ここ数年お客様に一貫として伝えて来たことは  
「自分の健康は自分で守る」という知識と意識と習慣を持ってほしいということ。

「だって、病気のことにはわからないし、医者に任せて何が悪いの？」  
それが多くの日本人の反論でしょうが、それならずと病気になるたびに  
不安になって、自分や家族の健康は“病院任せ“になるじゃないですか。

病院の医者は西洋医学のプロであって、『健康増進のプロ』ではありません。  
だから、西洋医学が進歩しても、どんどん今も患者は増えているのです。

先月、お子さんが度々発熱をして、心底困っているという相談を受けました。  
何度も小児科を受診しては抗生剤・解熱剤を処方され、我が子に常用させて  
いる親御さんを私は叱咤しました。

「どうしてこの子が発熱を繰り返すのか？ 医者の薬に頼らず治す方法は  
他にないのか？ もっと考えなさい」。そして具体的なアドバイスをしました。

朝と寝る前に、足湯と月桃カイロで温めてあげなさい。夜は早々に家事を切り  
上げ（片づけは夫に任せて）、添い寝して子どもをなでてあげなさい。

「大丈夫、大丈夫、安心しておやすみ」って、優しく囁いてあげながら。

結果、お子さんの繰り返す発熱は数日後に終息しました。  
小児科の受診を否定しているのではありません。こちらの親御さんに限らず  
今の世の中の問題は、自分（子ども）の病気に対して、自分（親）がしっかり  
向き合おうとせず、すぐに病院に検査に薬に頼ろうとする姿勢です。

発熱に対して解熱剤ではなく、**足湯で体温を上げて、真の解熱（完治）に導く。**  
こうした自宅でする健康回復の知恵は、昔からあった（頭寒足熱）。  
「足湯」は毎日習慣にすることで、風邪の治療にも予防にもなります。

でも、そうしたことを病院の医者も学校の先生も教えてくれない。なぜか？  
彼らは知らないから。医学部、教育学部では習っていないからです。

より良く生きていくための『先人の知恵』。現代人には古臭くてめんどくさい。  
果ては、エビデンスがない。そんな頭でっかちの日本人が増えているから  
コロナに対しても異様に恐れ続け、疑いなく“打ち続ける”のでしょう。

さて、今月号のタイトル。「良縁を結ぶ」ために必要なこと。  
良縁とは何か？ 私が考える良縁とは、相手との価値観が一致して、より  
良い結果を出していくために団結し、困難を乗り越えていく人間関係です。

良縁の人たちは、目先のことではなく、将来のことを重要視して行動している。  
自分の幸せだけではなく、相手の、社会全体の幸せまで考えて行動している。

そうやって私は太田東西薬局を25年間営んできたつもりです。  
だからお客様に対して、ある時は厳しいことも言います。  
結果を焦るな！他人と比べるな！目先のことに走るな！もっと考えろ！と。

2023年以降、縁はさらに2分化2極化していきます。  
良縁を結びたいなら、まずは悪縁を切ることから。今の自分が幸せでないなら  
今の自分の価値観・考え方を“切り捨てる”こと。  
間違った（良縁を結べない）思い込みは、やがて「勘違い」となり、勘違いは  
悪縁につながります。病気がなかなか治らない人は、勘違いしている人です。

良縁に恵まれる人生を歩むために、どうぞ今の自分の価値観・考え方を今一度  
見直し、変わることを恐れずに整理してみてください。  
結ぶことばかりに目をやって、結果“こんがらがっている”人が多いですね。  
切る。断つ。離れる。自分を浄化（ブラッシュアップ）して次の縁を待つ。  
結果、必ず良縁はやって来ます😊。

何を隠そう、我が家の息子たちも、やっと良縁を結べそうです。

本人たちが結んだ縁が、ほんとうに「良縁」なのか？  
太田家のリーダー、父親である私がそれを確かめることにしました。

昨年 12 月。太田東西かわら版 12 月号も 2 人に読んでもらいました。

東京で。  
長男の恋人に。



長崎で。  
次男の恋人に。



幸せな家庭には、夫婦間のパートナーシップ（協力関係）が必要不可欠。  
特に結婚前から『健康観』を一致させることが大切。それが納得できないなら  
縁がなかったことにしてほしい。両家のために。そう 2 人に伝えました。

結果、「とても勉強になりました！」。  
病院や学校では習ったことのない東洋医学の健康観に感心してくれました。

**病気になっても自分の体を愛して信じること。誰よりも自分が、自分を大切に  
すること。それはパートナーを愛し、信じ、大切にすることにもつながる。**

一方的な価値観の押し付けではなく、共有（シェア）できた良縁だと信じて  
後は温かく見守っていきたいと思います😊。